日本食糧新聞 The Japan Food Journal
【第３種郵便物認可】

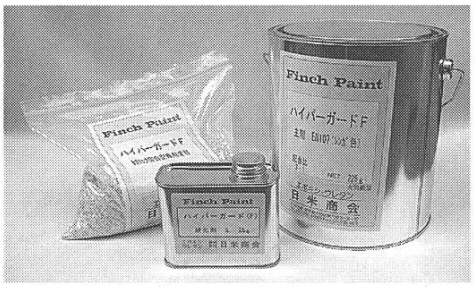
機械・IT

素人でも簡単・手軽に使える
日米商会・塗り床補修キット

食品工場の床の傷み 早期補修を提案
費用・時間・労力かかる 大規模改修回避へ

食品工場の塗り床の専門業者である日米商会は、プロでなくても手軽に使え、簡単に塗り床を補修できるキットを開発した。ユーザーである食品工場では、床の傷みを早期発見して早期補修することで、大規模な床の改修にかかる費用・時間・労力といった無駄が省ける。同社では、専門業者による改修時間の取れないユーザーが、自分たちで小まめに塗り床を保全することで、床の傷みの拡大を抑えて既存の床を長く使ってもらおうという考えだ。このキットで補修した箇所を含め、普段からユーザーの床をチェックすることで、次回の改修の時期やタイミングなどユーザーとのコミュニケーションを図っていく考えだ。

（江端哲也）



日米商会が開発した塗り床キット。写真は（右から）主剤、硬化剤、骨材を組み合わせて〝一層仕上げ〟ができる「ハイパーガード」

今回開発した塗り床キットは、酸・薬品に強く、ローラー塗りが可能な「エポタフ」シリーズ、耐熱性や耐薬品性に特に優れ、より厳しい条件下でも使える「スーパータフ」シリーズ、下地コンクリートまで深く浸蝕されているところには、上塗りが不要でがっちり厚塗りが〝一層仕上げ〟できる「ハイパーガード」の3タイプ。

主な特徴は①製造現場の厳しい使用条件下で鍛え抜かれた材料を施工しやすく調整した②顧客自らが使う想定で、作業に不慣れな人でもローラーなどでムラなく、きれいに塗れるようにした③改修の場所と条件で材料を選べる④プロのコツが満載の施工要領書付き。

國廣和子同社社長は「工場床の傷みが小さいうちに手入れをして、時間と経費の節約につながれば良い」との思いから、得意先の工場で段階的に新しい補修材を試させてもらい、「塗りやすさと強さをいかにバランスさせるか」の検証を繰り返してきた。「やっと誰が使っても非常に良い仕上がりが期待できる製品に仕上がった。補修材を施工要領書の指示通りに使ってもらえば、期待通りの効果が得られる」という。営業担当の三木たま緒氏は「工場で働く人たちが自分で床を補修することで、床を大切に扱おうという良い意識付けにもつながっているようだ」とキットの目に見えない効果を教えてくれた。

24時間稼働の食品工場では、長期間設備を止めることが難しい。大規模な改修をいかに避けるかということは非常に重要な課題になっている。床の傷みは発生直後に補修すれば、大規模な補修を先送りしたり、避けることもできる。しかし、わずかな補修のたびに業者に依頼するのは現実的ではなく、実際には重症化して、はじめて業者を呼ぶケースが多かった。

全国9工場の保安シ
テムを強化 キュー

指紋認証式セキュリテ

キューピーは確実な防犯体制作りのため、全国9工場のセキュリティーシステムを強化する。認証式施錠管理を導入し、防犯カメラを設置する。セキュリティーを強化することで、間違いのない製品作りの体制を徹底し、従業員が安心して仕事に取り組める環境を提供する。これらは1月中に導入予定。

工場建屋への暗証番号を必要ダムテンキーロDカードリーダタグ式、静脈認認証式など、必セキュリティー

携帯可能な料理持ち帰り用容器発売
洗浄・繰り返し使用可能 残飯廃棄量の削減目指す

伊藤忠商事はこのほど、一循環社会型環境ブランド「MOTTAINAI」の新たな展開として、雑貨の企画販売を行うレ

伊藤忠商事はドギーバッグの普及活動を通じて、残飯廃棄量の削減と、残した料理は持ち帰る文化の推進に努める。

円（税抜き）。レアック・ジャパンのオンラインショップとオレンジハウス全店舗で取り扱う。順次、MOTTAINAIショップや

廉価で誰でも簡単に使える
ニッコクソフト 需要予測ソフトウエア

日本は食料自給率が約40%と欧米諸国より低いにもかかわらず、残飯廃棄量が多いことが問題視されている。これらの解決策として08年9月、レアック・ジャパンがドギーバッグを発売。伊藤忠商事が展開する

MOTTAINAIキャンペーンの活動主旨および提唱するライフスタイルとの親和性が高いことで、このほど提携が決まった。

持続可能な循環型社会の構築を目指して展開するMOTTAINAIキャンペーンでは、日本を取り巻く食料事情と、食料を廃棄しないことに対する解決策のひとつとして、ドギーバッグの普及を進めていく。

（涌井実）

ITソリューション開発 して価格を大幅に下げた。

万円という低価格を実現し

構造にしたため、タマイズが自由独での使用だけシステムとの連すい。従来の需トウエアで余儀いた、外付けのアをつないだ複ム構築をする必導入コストを大れる。